

新ギャラリートーク誕生！

「テルマエ・ロマエツアー」

～大塚国際美術館で古代ローマヘタイムスリップ～

『テルマエ・ロマエ』は、古代ローマと現代日本という時空を超えた空間を「風呂」という普遍的な文化を通じて描くベストセラーコミックです。

シリーズ累計500万部を突破し、史上初の「マンガ大賞2010」「第14回手塚治虫文化賞 短編賞」のダブル受賞を果たした話題作が待望の実写映画化。4月28日(土)に全国東宝系にて公開されます。

大塚国際美術館(館長:大塚明彦、所在地:徳島県鳴門市)では、映画公開に合わせ、『テルマエ・ロマエ』の舞台である古代ローマ時代の人々の暮らし、食事、娯楽、宗教観など、絵画を巡りながら紹介するギャラリートークを開始しました。ギリシア、ローマの作品200点を展示する「古代展示コーナー」を中心に『テルマエ・ロマエ』のエピソードに関連した作品を美術館スタッフがご案内します。

風呂文化により、時を超えて繋がる古代ローマと現代日本。

『テルマエ・ロマエ』の主人公ルシウスは、古代ローマから現代日本ヘタイムスリップし、数々の驚きを体験します。本ツアーでは、現代を生きる私たちが逆に2000年前にタイムスリップ！

古代ローマの芸術的な豊かさは、現代人の目からみても価値を失っていません。壁画の中にみられる古代ローマ人の日常生活を垣間見ることで、その豊かな感性に驚き、また共感していただけるものと考えています。

報道関係の皆様におかれましては、ご多忙と存じますが、「テルマエ・ロマエツアー」をぜひご取材いただけますよう、何卒よろしく申し上げます。



「ララルイウムの壁画」(カウボーナ1、ポンペイ、イタリア)



ガイドが古代ローマ人の正装トガを着て案内する、ツアーの様子

この写真は案内イメージであり、実際のツアーと異なる場合があります。予めご了承ください。

【テルマエ・ロマエツアー 概要】

開催日	2012年7月以降のスケジュールはお待ちください。		
4月	21日(土) 22日(日) 28日(土) ~ 30日(祝・月)		
5月	1日(火) ~ 6日(日) 12日(土) 13日(日) 27(日)		
6月	9日(土) 10日(日) 23日(土) 30日(土)		
開始時間	12:00	集合場所	インフォメーション横
定員	20名(事前予約可)	所要時間	40分程

ご参考

「テルマエ・ロマエ」とは

ヤマザキマリ氏によるタイムスリップ風呂漫画作品。待望の映画化もされ、4月28日(土)に全国東宝系にて公開。コミックス1~4巻は、シリーズ累計500万部を突破し、現在も「月刊コミックビーム(エンターブレイン刊)」にて好評連載中。

あらすじ

舞台は西暦130年代の古代ローマ。主人公は生真面目なお風呂設計技師ルシウス。仕事熱心な彼は浴場のアイデアに悩んだあげく、ローマのお風呂から現代日本の銭湯へタイムスリップしてしまいます！

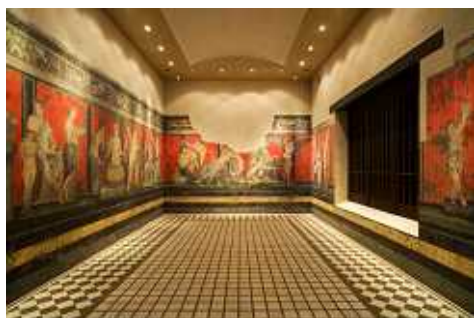
古代ローマと現代日本を行き来できる体質になってしまったルシウスの行く末はいかに！

「テルマエ・ロマエ」とは、「ローマの風呂」の意味。古代ローマの街にはたくさんの公衆浴場があり、人々は毎日の公衆浴場での入浴をこよなく愛しました。

「テルマエ・ロマエツアー」紹介作品の一部

ヘラクレイトス「ローマン・モザイク」(ヴァチカン美術館)

貴族の宴会の後、床に散乱したごみや食べ残しを描いた床モザイク。床に食べかすが多いのは盛り上がった宴会のしるし。ウニ、大きなエビ、蟹、卵、さざえ、鶏の足、くるみ、にんにく、いちじく、ぶどう、木の実など、どれも殻や食べ残しです。当時同様、当館では床に展示しており、古代ローマ人の視線で鑑賞できます。



「秘儀の間」(秘儀荘、ポンペイ、イタリア)

秘儀の間は、西暦79年のヴェスヴィオ火山の噴火で火山灰の下に埋まってしまったポンペイ遺跡にある別荘。

秘儀の間がある裕福な農家の別荘にも浴場は完備されていました。現地ではもう中に入る事のできない部屋を原寸大で再現しています。

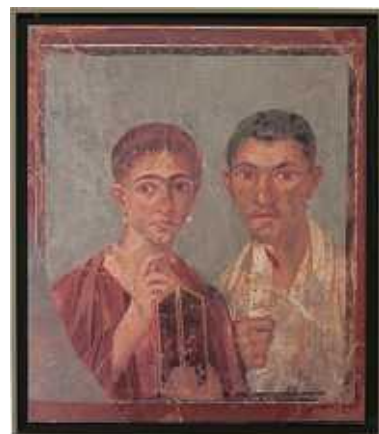
「パン屋の夫妻」(ナポリ国立考古学博物館、イタリア)

古代ローマ人の男女の肖像画。ポンペイから発掘されました。

『テルマエ・ロマエ』では現代日本にタイムスリップしたルシウスが日本人を「平たい顔族」と呼びますが、確かに日本人と比べるととても彫りの深い顔立ち。

男性の着ている服はトガと呼ばれる古代ローマの正装です。

ツアーでは古代ローマの服装もちょっと詳しく紹介します。



モネの「大睡蓮」(オランジュリー美術館、フランス)

『テルマエ・ロマエ』の舞台である、西暦 130 年頃を統治していたのは、第 14 代古代ローマ皇帝、ハドリアヌスです。ハドリアヌスはギリシア文化や芸術をこよなく愛し、ローマ近郊のティヴォリに美しい別荘を建設し、ギリシア時代の作品のレプリカをたくさん飾り楽しんだといわれます。

当館の屋外展示：モネの「大睡蓮」は、このハドリアヌス帝別荘の「海の劇場」を引用してデザインされました。

【上】当館の屋外展示：モネの「大睡蓮」

【下】第 14 代古代ローマ皇帝、ハドリアヌス帝別荘 ヴィラ・ティヴォリの「海の劇場」(イタリア)

「テルマエ・ロマエツアー」の楽しみ方 5 つのポイント

1. 《古代ローマ人の食生活》

「宴会の場面」(ナポリ国立考古学博物館) 【作品 No.47】

ヘラクレイトス「ローマン・モザイク」(ヴァチカン美術館) 【作品 No.129】

2. 《古代ローマ人の娯楽》

「ポンペイ人とヌケリア人の戦い」(ナポリ国立考古学博物館) 【作品 No.128】

3. 《古代ローマ人の宗教観》

「ララルウム壁画」(カウポーナ 1、ポンペイ) 【作品 No.133】

4. 《古代ローマ人の風貌》

「パン屋の夫妻」(ナポリ国立考古学博物館) 【作品 No.61】

5. 《古代ローマ皇帝》

「身づくろいする鳩」(カピトリノ美術館) 【作品 No.71】

モネの「大睡蓮」(オランジュリー美術館) 【作品 No.483】

大塚国際美術館とは

渦潮を臨み緑豊かな鳴門公園に位置する「大塚国際美術館」。古代壁画から世界 25 ヶ国 190 余の美術館が所蔵する現代絵画まで、1,000 点を超える世界の名画を特殊技術によって、原寸大の陶板で忠実に複製しています。約 4 km に及ぶ鑑賞ルートには、古代遺跡や礼拝堂を現地の空間そのままに再現した立体展示のほか、レオナルド・ダ・ヴィンチ「最後の晩餐」、ゴッホ「ヒマワリ」、ピカソ「ゲルニカ」など、美術書などで一度は見たことがあるような名画を美術史の流れに沿って展示しています。

なかでも、ミケランジェロが描いた天井画と正面祭壇壁画「最後の審判」とともに立体再現した「システーナ・ホール」の迫力は必見です。

大塚国際美術館

住所：徳島県鳴門市鳴門町 鳴門公園内

TEL：088-687-3737

FAX：088-687-1117

<http://www.o-museum.or.jp/>

開館時間：9時30分から17時（入館は16時まで）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）

正月明けに連続休館あり / 7・8月無休

入館料：小・中・高生 520円

大 学 生 2,100円

一 般 3,150円

*20名以上の団体は10%割引

アクセス

- ・鳴門北ICから車で約3分
専用駐車場より無料シャトルバス運行
- ・高速バスにて（高速鳴門まで）
JR大阪駅より約2時間10分 / JR新神戸より約1時間35分
- ・路線バス「鳴門公園行」にて「大塚国際美術館前」下車
JR徳島駅より約55分、JR鳴門駅より約15分、
「高速鳴門バス停前」「小鳴門橋」バス停より約15分、
「徳島空港」バス停より約30分



環境展示：「システーナ・ホール」

《本件に関するお問い合わせ先》

大塚国際美術館 企画・広報部 坂本明子

TEL：088-687-3737 FAX：088-687-1117

e-mail：info@o-museum.or.jp